

《岐阜県教育委員会賞》

なんとかなるよ

美濃加茂市立東中学校 2年

菊池 那奈

4年前のある朝、階段から母と弟が転がり落ちてケガをしました。母が弟を無理に学校に連れていこうとしたからです。父にひどく怒られた弟は、ますます閉じこもるようになってしまいました。それを聞いたとき、「なんでそこまでして行かせたいんだろう、学校に行けていないことってそんなに悪いことなのかな。」と感じたことを覚えています。私にとって一番の気がかりだったのは、弟が学校に行けていないことよりも、家の雰囲気が悪くなることでした。そのことがあってから、心配性で世話焼きの母は、暗い顔になり私に冷たく当たることが増えました。正直、「なんで私に構ってくれないんだろう、前みたいなの明るいお母さんに戻って欲しいな。」と思っていました。おそらくこのままだと家に引きこもってしまうんじゃないかという不安、育て方がわるいのではないかという責任を感じていたように見えました。

そんな母が変わったのは、学校に勧められて、スクールカウンセラーさんにつながるようになってからです。カウンセリングから帰ってくるたび明るい表情になっていきました。そして、弟を無理に学校に行かせるのをやめ小学校とは別のところにある、校外教育支援センターに連れていくようになりました。それから、弟の笑顔が格段に増え、お友達のことを嬉しそうに話してくれるようになりました。同じ悩みを持っている子とつながれるようになったからだと思います。

さらに弟が変わったきっかけとして、学習障害と診断されたことがあります。カウンセラーさんがつなげてくれた病院で発達の検査を受けたのです。私は障害と聞いて驚きましたが、母は安心して見えました。自分の責任ではない。これはこの子の特性だとお医者さんに認められたからだと思います。そのころから母は、どこかふっきれて明るくなったように見え、元のお母さんに戻ってくれたのだなと安心しました。弟は来年中学生になりますが、支援学級なら通えるかもしれないと言いはじめています。姉としては、常に自分を否定していた弟に笑顔が増えて、心からうれしいと思っています。

最後に、この場で私から伝えたいことがあります。

まず、学校に行けないことに悩んでいる子。自分のことを責めすぎないでください。学校に行けていないことよりも、あなたの元気がなくなることの方が家族も悲しみます。焦らなくても大丈夫。いま、楽しいと思えることを見つけてみてください。

つぎに、子供の不登校に悩んでいるお父さん、お母さん。同じような悩みを持っている家庭はあなたたちだけではありません。私たちもそうでした。その悩みをだれかに相談し自分の心を軽くしてみてください。

私は、母の暗い顔をして元気のないところを見るのがとてもつらかったです。まずは親から笑顔になって明るい様子を見せて欲しいです。それが一番子供のためになります。

私にも昔、不登校は恥ずかしいことと決めつけて、周りの人に話しづらかった時期がありました。しかし、母と弟に笑顔が増えた今、こうして皆さんの前で堂々とお話することができています。

とにかく、誰でもいいんです。誰か一人につながれば、その人からつながりが広がり、支えてくれる人が現れます。

誰かとつながってみてください。

意外と、なんとかなりますよ。